

商標

Autel®, MaxiSys®, およびMaxiDAS®は、Autel Intelligent Technology Corp., Ltd.の商標であり、中国、アメリカ合衆国およびその他の国において登録されています。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。

著作権情報

本マニュアルのいかなる部分も、Autel Intelligent Technology Corp., Ltd.の事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写、録音、その他いかなる形式または手段によっても、複製、保存（検索システムへの格納を含む）、または送信することはできません。

保証の免責および責任の制限

本マニュアルに記載されているすべての情報、仕様、および図は、印刷時点で入手可能な最新の情報に基づいています。Autel Intelligent Technology Corp., Ltd.は、事前の通知なく、いつでも内容を変更する権利を有します。

サービス・サポートについて

	http://www.autel.com/jp/
	045-548-6282 (Japan)
	support.jp@autel.com

その他すべての地域における技術サポートについては、ご購入先の販売代理店までお問い合わせください。

ご自身および他者の安全を確保し、本機器および使用対象となる車両の損傷を防ぐため、本マニュアル全体に記載されている安全上の注意事項は、本機器を操作する者および接触する可能性のあるすべての人が必ず読み、理解することが重要です。

車両整備には、さまざまな手順、技術、工具、および部品が関係し、また作業を行う個人の技能にも差があります。本機器で実施可能なテスト用途は非常に多岐にわたり、対象製品にも多くのバリエーションが存在するため、あらゆる状況を想定した助言や安全上の注意を網羅的に提供することはできません。

対象となるシステムについて十分な知識を有することは、自動車整備技術者の責任です。適切な整備方法および試験手順を使用することが不可欠です。また、ご自身や作業エリア内の他者、使用する機器、あるいは試験対象の車両に危険を及ぼさないよう、適切かつ安全な方法で作業を行うことが重要です。

機器を使用する前に、必ず試験対象となる車両または機器のメーカーが提供する安全上の注意事項および適用される試験手順を参照し、それに従ってください。本機器は本マニュアルに記載された方法に従ってのみ使用してください。また、本マニュアルに記載されているすべての安全上の注意および指示をよく読み、理解し、遵守してください。

安全に関する情報

安全に関する注意事項は、人身事故や機器の損傷を防ぐために提供されています。すべての安全メッセージは、危険の程度を示すシグナルワードによって示されています。

⚠ 危険 回避しなかった場合、作業者または周囲の人に死亡または重大な傷害をもたらすおそれのある、差し迫った危険な状況を示します。

⚠ 警告 回避しなかった場合、作業者または周囲の人に死亡または重大な傷害をもたらすおそれのある、差し迫った危険な状況を示します。

重要安全指示

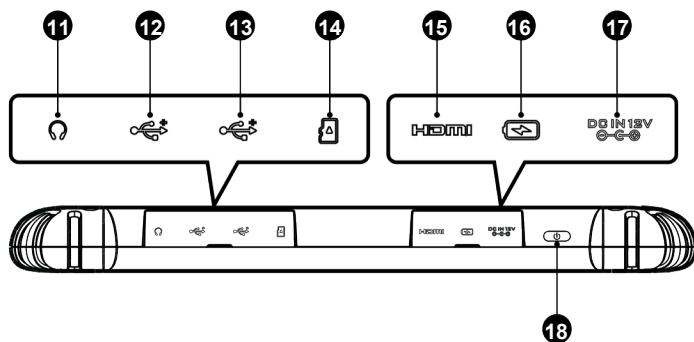
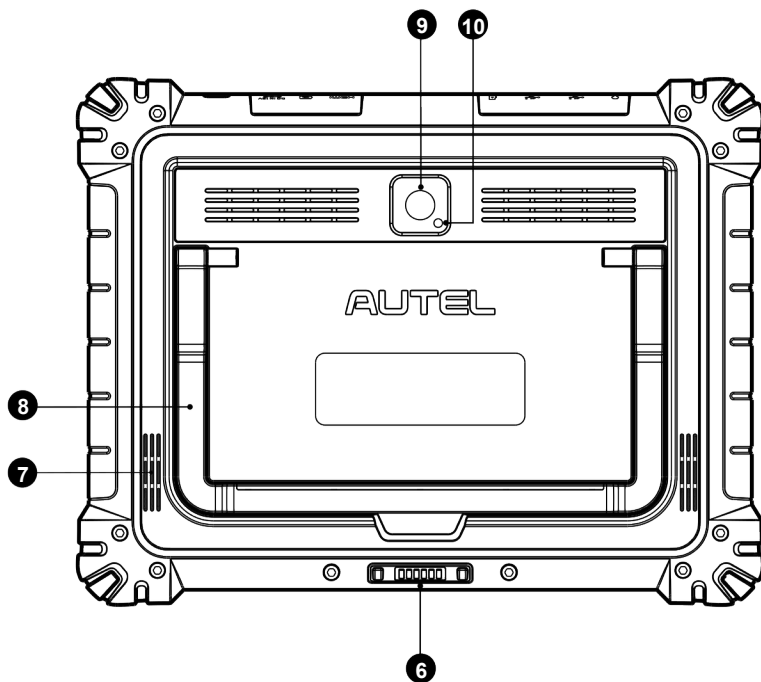
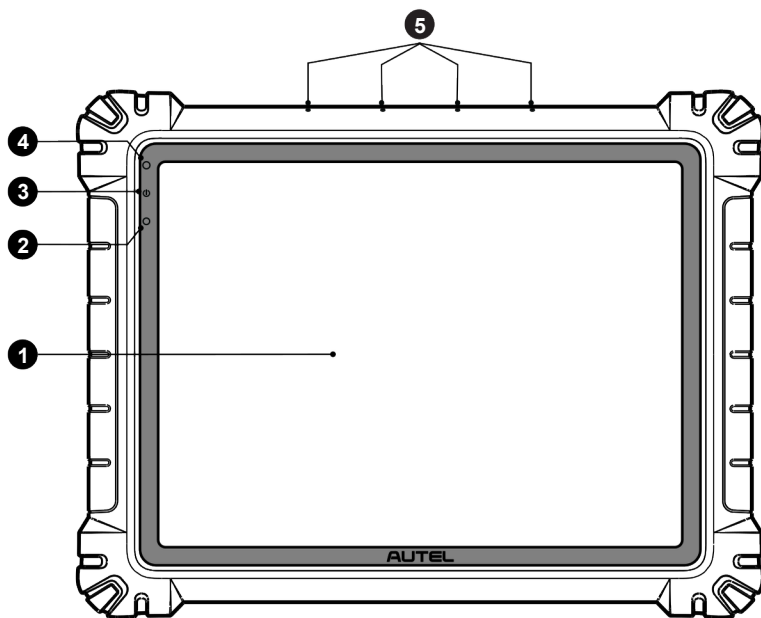
本書に記載されている安全に関する注意事項は、Autelが把握している状況に基づいています。Autelは、起こり得るすべての危険を把握・評価し、助言することはできません。したがって、遭遇するあらゆる状況や整備手順がご自身の安全を損なわないことを、必ずご自身で確認する必要があります。

⚠ 危険 エンジンを作動させている際は、作業エリアを十分に換気するか、建物用の排気除去システムをエンジンの排気系に接続してください。エンジンは一酸化炭素を発生させます。一酸化炭素は無臭で有毒なガスであり、反応速度の低下を引き起こし、重大な人身事故や死亡につながるおそれがあります。

⚠ 警告 自動車のテストは常に安全な環境で実施してください。ANSI規格に適合した保護メガネを着用してください。衣服、髪、手、工具、テスト機器などは、可動部や高温のエンジン部品から十分に離してください。排気ガスは有毒であるため、車両は換気の良い作業エリアで運転してください。トランスミッションは、オートマチック車の場合は「P（パーキング）」、マニュアル車の場合は「N（ニュートラル）」に入れ、パーキングブレーキが確実にかかっていることを確認してください。駆動輪の前には輪止めを設置し、テスト中は車両を決して放置しないでください。イグニッションコイル、ディストリビューターキャップ、点火ケーブル、スパークプラグの周辺で作業する際は特に注意してください。これらの部品はエンジン作動中に危険な高電圧を発生させます。ガソリン、化学物質、電気火災に対応した消火器を手の届く場所に用意してください。イグニッションがオンの状態やエンジンが作動中の状態では、テスト機器の接続・取り外しを行わないでください。テスト機器は常に乾燥し、清潔な状態を保ち、油、水、グリースなどが付着しないようにしてください。必要に応じて、中性洗剤を含ませた清潔な布で外装を清掃してください。車両の運転とテスト機器の操作を同時に行わないでください。注意力の低下により事故につながるおそれがあります。整備対象車両のサービスマニュアルを参照し、すべての診断手順および注意事項を遵守してください。これを怠ると、人身事故やテスト機器の損傷につながる可能性があります。テスト機器の損傷や誤ったデータの発生を防ぐため、車両のバッテリーが十分に充電されており、DLC（診断コネクタ）への接続が確実で清潔であることを確認してください。テスト機器を車両のディストリビューターの上に置かないでください。強い電磁干渉により機器が損傷するおそれがあります。

MAXISYS ULTRA S2

MaxiSys タブレット



製品概要

MaxiSysシステムは、主に2つの主要なコンポーネントで構成されています。

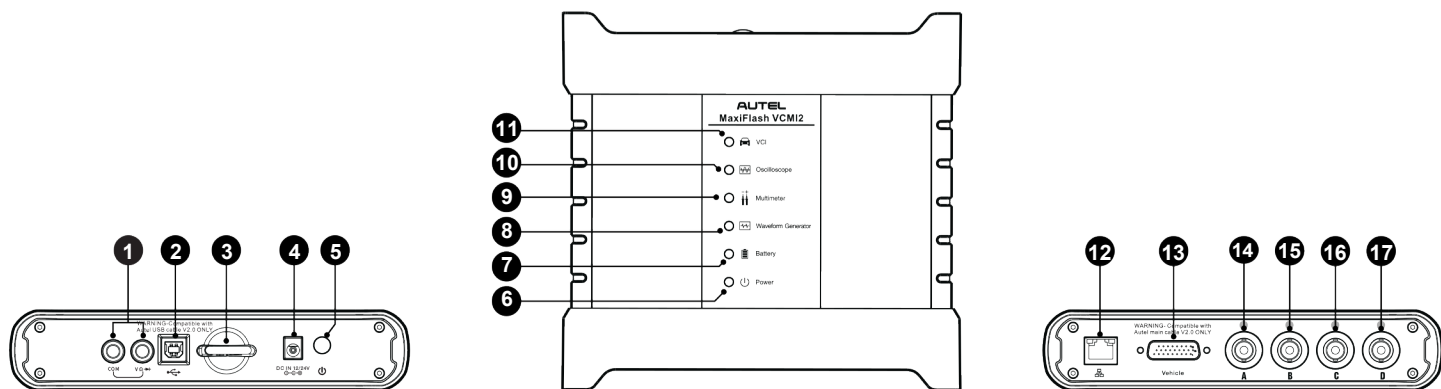
- MaxiSysタブレット — システムの中核となるプロセッサおよびモニター
- MaxiFlash VCM12 — 車両通信および計測用インターフェース

1. 13.7インチ TFT-LCD 静電容量式タッチスクリーン
2. 環境光センサー — 周囲の明るさを検知
3. 電源LED
4. フロントカメラ
5. マイクロフォン

6. ドッキングステーションポート
7. スピーカー
8. 折りたたみ式スタンド — 背面から引き出し
て、タブレットをハンズフリーで使用可能
9. リアカメラ
10. カメラフラッシュ

11. ヘッドフォンジャック
12. USBポート
13. USBポート
14. miniSDカードスロット
15. HDMI（高精細マルチメディアインターフェース）ポート
16. Type-C充電ポート
17. DC電源入力ポート
18. 電源/ロックボタン — 長押しでタブレットの電源のオン/オフ、短押しで画面をロックします。

MAXISYS ULTRA S2



MaxiFlash VCMII2

1. マルチメータジャック
2. USBポート
3. フック
4. DC電源入力ポート
5. 電源ボタン
6. 電源LED — 詳細は表1-1「電源LEDの説明」を参照してください
7. バッテリーLED — 詳細は表1-2「バッテリーLEDの説明」を参照してください
8. 波形発生器LED — 波形発生器モードで動作中に緑色で点灯します
9. マルチメータLED — マルチメータモードで動作中に緑色で点灯します
10. オシロスコープLED — オシロスコープモードで動作中に緑色で点滅します
11. 車両LED — 詳細は表1-3「車両LEDの説明」を参照してください
12. イーサネットポート
13. 車両データコネクタ (DB26ピン)
14. 入力チャンネルA
15. 入力チャンネルB
16. 入力チャンネルC
17. 入力チャンネルD



重要

車両LEDが点灯している間は、本プログラミングデバイスを絶対に取り外さないでください。プログラミング中に中断され、車両のECUが書き込みまたは不完全な状態となった場合、モジュールが復旧不能になる可能性があります

表1-1 電源LEDの説明

LED	Color	Description
電源	黄色	・ 電源投入時、VCMII2が自己診断中は自動的に黄色で点灯します。
	緑色	・ 電源オン時は緑色で点灯します。
	赤色	・ システム障害が発生した場合は赤色で点灯します。 ・ VCMII2のアップグレード中は赤色で点滅します。

表1-2 バッテリーLEDの説明

LED	Color	Description
バッテリー	緑色	・ VCMII2の充電中は緑色で点滅します。 ・ 満充電時、またはバッテリー残量が50%以上の場合は緑色で点灯します。
	黄色	・ バッテリー残量が25%以上50%未満の場合は黄色で点灯します。
	赤色	・ バッテリー残量が10%以上25%未満の場合は赤色で点灯します。 ・ バッテリー残量が10%未満の場合は赤色で点滅します。

表1-3 車両LED表示説明

LED	Color	Description
車両	緑色	・ USBケーブル接続時、緑色で点灯する。 ・ USB/Ethernetケーブルで通信中は、緑色で点滅する。
	青色	・ EthernetケーブルまたはBluetooth接続時は、青色で点灯する。 ・ Bluetooth通信中は、青色で点滅する。
	青緑色	・ Wi-Fi接続時は、青緑色で点灯する。 ・ Wi-Fi通信中は、青緑色で点滅する。

使用開始手順



重要

本製品を操作または保守する前に、本書をよくお読みいただき、特に安全上の警告および注意事項には十分ご留意ください。本製品は正しく、かつ慎重にご使用ください。これらに従わない場合、製品の損傷や人身事故の原因となるおそれがあり、また製品の限定保証が無効となることがあります。

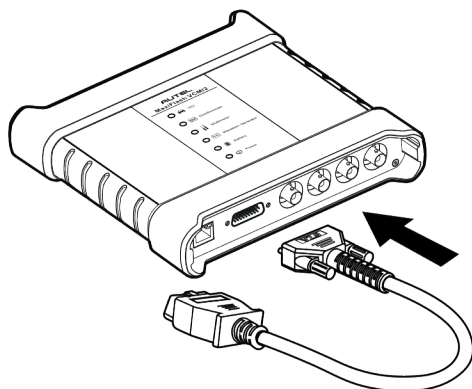


警告

MaxiFlash VCMi2は、Autel製メインケーブル V2.0およびUSBケーブル V2のみに対応しています。

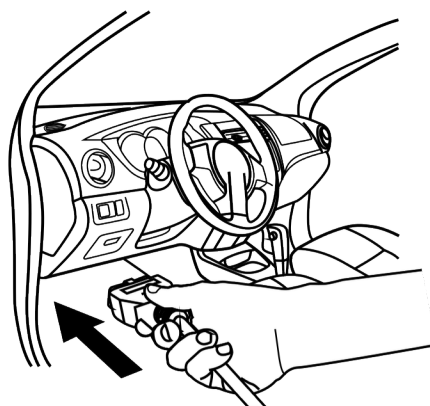
1

メインケーブル V2.0をVCMi2の車両データコネクタに接続し、サムスクリューを締め付ける。



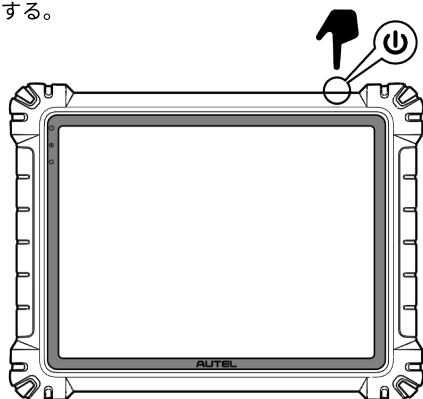
2

ケーブルの16ピンアダプタを車両のDLCに接続する。DLCは通常、インストールメントパネル下部に配置されている。



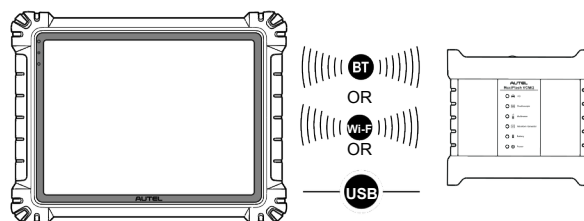
3

タブレットの電源を入れる。タブレットのバッテリーが十分に充電されていること、またはDC電源に接続されていることを確認する。



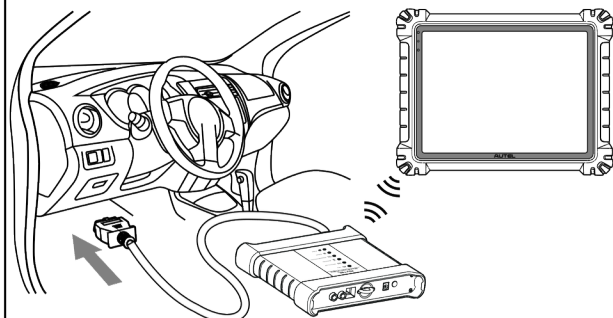
4

以下の3つの方法（Bluetooth、Wi-Fi、USBケーブル V2）のいずれかを選択し、タブレットとVCMi2を接続する。プログラミング時は、USBケーブル接続のみを使用すること。



5

VCMi2が車両およびタブレットに正しく接続されると、画面下部のステータスバーにあるVCMi2ステータスボタンが緑色で表示され、車両診断を開始できる状態であることを示す。



6

測定アプリケーションは、電気配線、回路、およびシステムのテストを可能にする。



このたびは、Autel MaxiSys Ultra S2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。Autelは最高水準の品質基準に基づいて製品を製造しております。本製品を適切に保守し、取扱説明書に従って正しく使用することで、MaxiSysシステムを長期間にわたりトラブルなくご使用いただけます。